

2 北杜市の現況について

2.1 自然特性

(1) 位置・地勢

北杜市は、甲府盆地の北西に位置し、山梨県北西端として西から北にかけては長野県に接し、東から南にかけては、甲府市・甲斐市・韮崎市・南アルプス市に接しています。また、市域の西部は甲斐駒ヶ岳から連なる南アルプス、北部は八ヶ岳連峰、北東は秩父山地、東は茅ヶ岳といった山々に囲まれています。

地理的特徴としては、八ヶ岳と茅ヶ岳南麓に広がる火山性の台地部分と、釜無川による沖積平野にあたる部分の大きく2つに分けられます。

秩父多摩甲斐国立公園、南アルプス国立公園、八ヶ岳中信高原国定公園、県立南アルプス巨摩自然公園などの自然公園を有し、全国有数の美しい自然環境を誇る地域です。

(2) 面積・土地利用

総面積は、602.89km²であり、林野面積が73.2%を占めています（表2.1-1）。

表2.1-1 面積

総面積 (km ²)	林野面積 (km ²)	林野面積の割合 (%)
602.89	441.3	73.2

(出典：総面積は山梨県統計データバンク、林野面積は農林業センサス 2005)

(3) 気象

気象は、年間の寒暖差が大きい内陸性であり、夏は30℃を越える場合がある一方で冬は氷点下を下回る場合もあります。積雪は一部の山間地域で見られる程度です。

平成20年（2008年）のアメダスデータ（平年値）によると、年平均気温は10.7℃、月平均気温では最暖月は8月の22.3℃、最寒月は1月の-0.4℃と、冷涼な気候となっています。また、日照時間は年間2,228.5時間と全国平均（1,934時間）に比べて長く、降水量は1,138.4mmと全国平均（1,714mm）に比べて少なくなっており、日照条件に恵まれた地域です（表2.1-2）。

表2.1-2 大泉測候所の平年値データ（平成20年（2008年））

	降水量 (mm)	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	平均風 (m/s) 速	日照時間
1月	38.0	-0.4	4.1	-4.9	2.9	197.3
2月	41.6	-0.2	4.6	-4.7	2.8	192.7
3月	79.9	3.5	8.5	-1.4	2.5	203.8
4月	85.2	9.4	14.9	4.1	2.4	209.0
5月	94.8	14.1	19.4	9.2	2.0	201.5
6月	154.3	17.8	22.2	14.0	1.6	152.1
7月	144.3	21.2	25.6	17.6	1.4	167.1
8月	132.5	22.3	27.3	18.6	1.5	200.4
9月	187.8	18.3	22.6	14.7	1.5	137.7
10月	106.0	12.5	17.2	8.2	1.9	171.8
11月	53.5	7.2	12.1	2.7	2.4	187.5
12月	20.4	2.2	7.0	-2.4	2.8	205.4
年	1,138.4	10.7	15.5	6.3	2.2	2,228.5

(出典：気象庁HP(<http://www.data.jma.go.jp/>))

2.2 社会特性

(1) 人口・世帯数

人口は、平成2年（1990年）以降、平成16年（2004年）までゆるやかな増加傾向がみられましたが、近年ではやや減少しています（図2.2-1）。

世帯数は、増加傾向がみられ平成20年で19,765世帯であり、平成2年の14,862世帯に比べ約5,000世帯増加しています。また、1世帯あたりの人数は、減少傾向がみられ平成20年で2.50人であり、平成2年の3.16人に比べ減少しています（図2.2-2）。

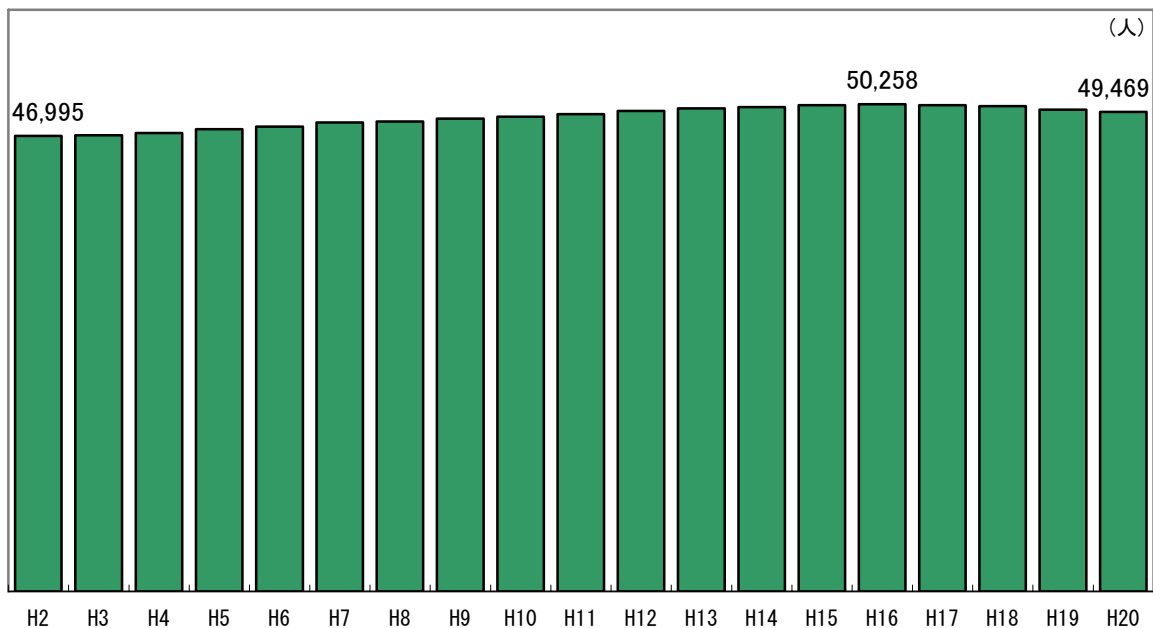


図2.2-1 人口の推移

(出典：市町村別住民基本台帳（各年度12月末時点）、北杜市HP (<http://www.city.hokuto.lg.jp/hokuto/>))

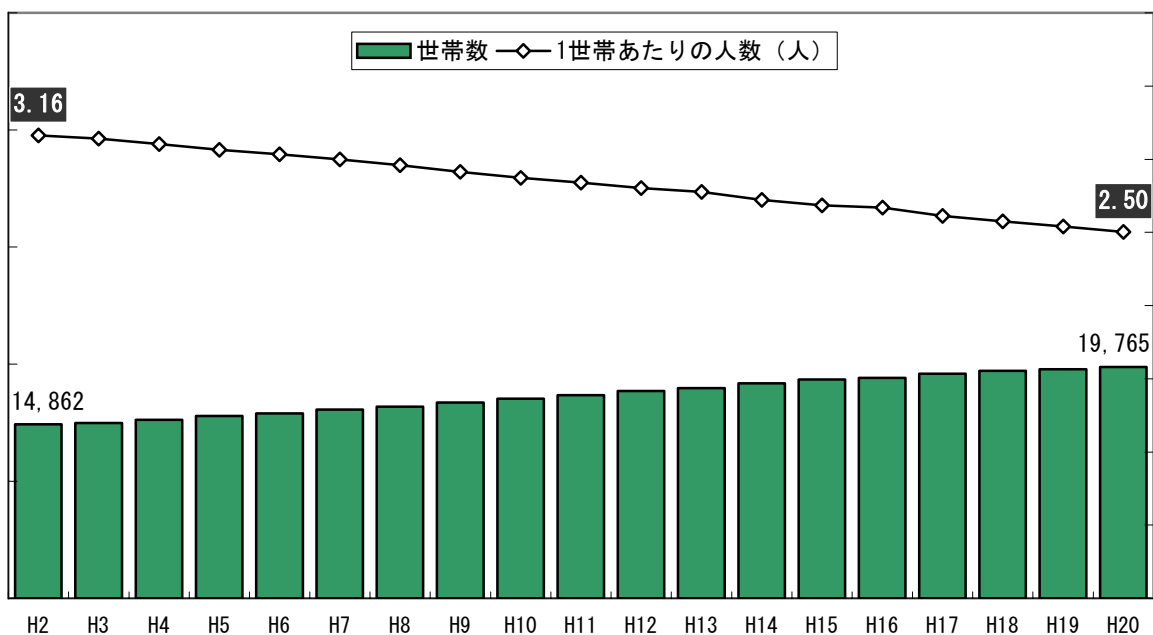


図2.2-2 世帯数・1世帯あたり人数の推移

(出典：市町村別住民基本台帳（各年度12月末時点）、北杜市HP (<http://www.city.hokuto.lg.jp/hokuto/>))

(2) 産業構造

① 就業者数

就業者数は、昭和60年（1985年）から平成17年（2005年）の間、26,000人台でほぼ横ばいとなっています。

産業分類別（大分類）では、第一次産業の割合が低下する一方で、第三次産業の割合が上昇しており、平成17年（2005年）には約5割を占めています（図2.2-3）。

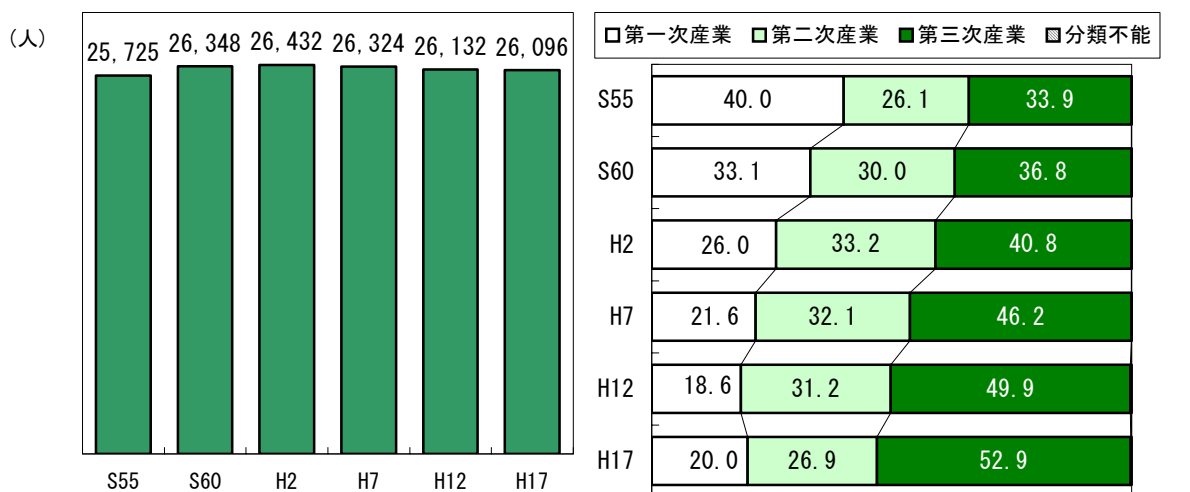


図2.2-3 (左) 就業者数の推移・(右) 産業分類（大分類）別就業者数割合の推移
(出典：国勢調査)

② 事業所数・従業者数

平成18年（2006年）の事業所・企業統計調査によると、事業所数は2,771事業所、従業者数は19,907人となっており、事業所数・従業者数ともに、平成8年（1996年）から減少しています（図2.2-4）。

産業分類別で見ると、事業所数では「卸売・小売業」（24.0%）、「飲食店、宿泊業」（22.3%）、「サービス業」（14.5%）、従業者数では「製造業」（25.8%）、「卸売・小売業」（15.5%）、「飲食店、宿泊業」（14.5%）が上位3位を占めています。

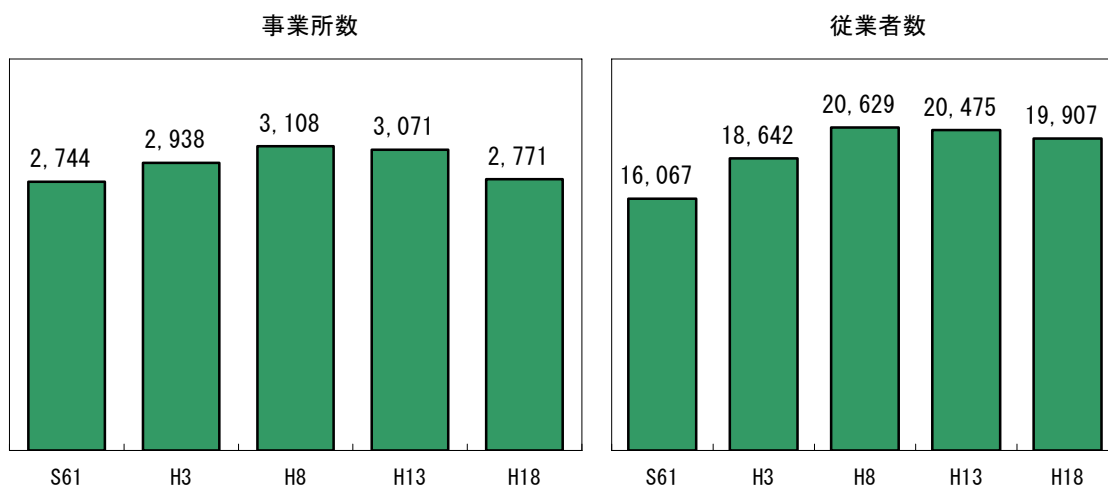


図2.2-4 事業所数・従業者数の推移
(出典：事業所・企業統計調査)

販売農家数 (N=3,467)

(3) 農林業

①販売農家数

平成17年（2005年）の北杜市の販売農家数は3,467戸であり、兼業農家が約3/4を占めています（図2.2-5）。

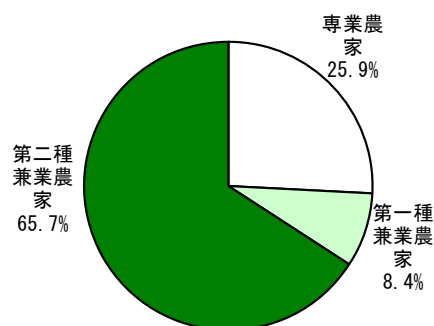


図2.2-5 平成17年の販売農家数の割合

②農業産出額

平成17年（2005年）の農業産出額は73億4,000万円となっています。耕種が約7割を占め、「米」（36.9%）、「野菜」（18.3%）、「乳用牛」（11.6%）の割合が高くなっています（図2.2-6）。収穫量が多い野菜は「だいこん」（2,665t）や「はくさい」（2,227t）等であり、収穫量が多い果樹は、「りんご」（623t）や「ぶどう」（198t）等となっています。また、水稻の収穫量は10,800t、作付面積は1,870haとなっています。また、北杜市内で栽培される「梨北米」が（財）日本穀物検定協会の米食味ランキングで4年連続「特A」評価を受けています。

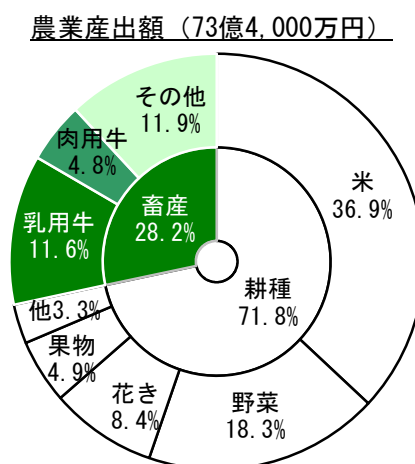


図2.2-6 農業産出額

（出典：農林水産省「平成17年生産農業所得統計」、2005年農林業センサス）

③耕地面積

耕地面積は5,170haで、田が61.5%、畑が38.5%を占めています。

④家畜飼養戸数・頭羽数

家畜飼養頭羽数は、乳用牛が1,740頭、肉用牛が1,970頭となっています（表2.2-1）。

表2.2-1 家畜飼養戸数・頭羽数

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
飼養戸数（戸）	41	32	2	16
飼養頭羽数	1,740	1,970	X	X

* Xは、秘密保護上統計数値を公表しないもの。

（出典：2005年農林業センサス）

⑤林業

林業経営体数は173経営体で、その中で法人化しているのは18経営体であり、大半は小規模な家族経営となっています。

(4) 工業

平成19年（2007年）の製造業の事業所数は、145事業所、従業員数は5,788人、製造品出荷額等は2,349億円となっており、従業員数、製造品出荷額等が増加傾向にあります（図2.2-7）。

また、平成19年（2007年）の製造品出荷額等を産業中分類別で見ると、「一般機械器具」が23.8%で最も高く、次いで「窯業・土石製品」（23.4%）、「飲料・たばこ・飼料」（20.6%）、「輸送用機械器具」（7.2%）、「食料品」（7.0%）等が続いています。

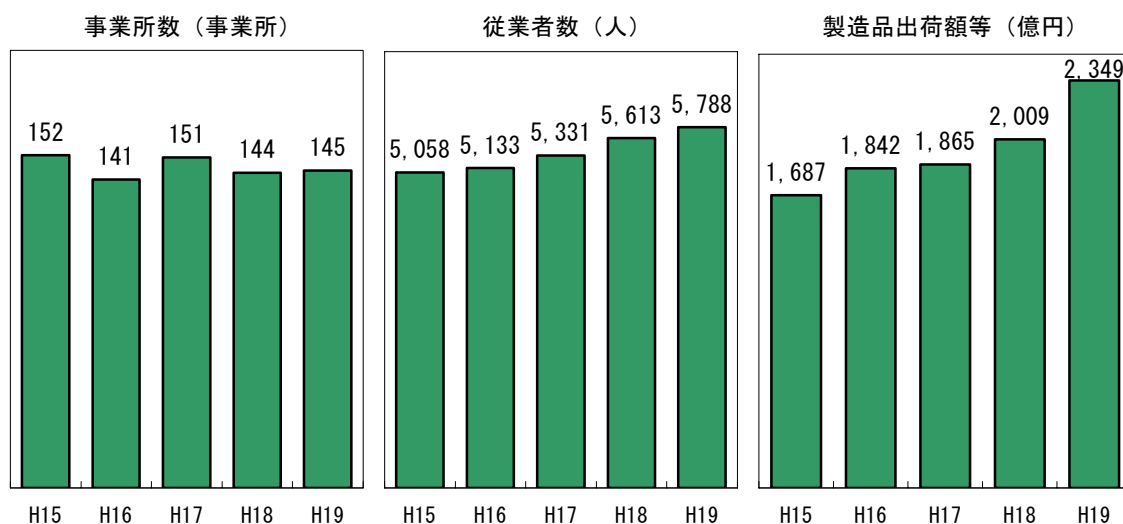


図2.2-7 工業（事業所数・従業者数・製造品出荷額等）の推移

（出典：工業統計表）

(5) 商業

平成19年（2007年）の商業統計調査では、事業所数は621事業所、従業者数は2,722人、年間商品販売額は409億円となっており、全ての項目で前回調査を下回っています（図2.2-8）。

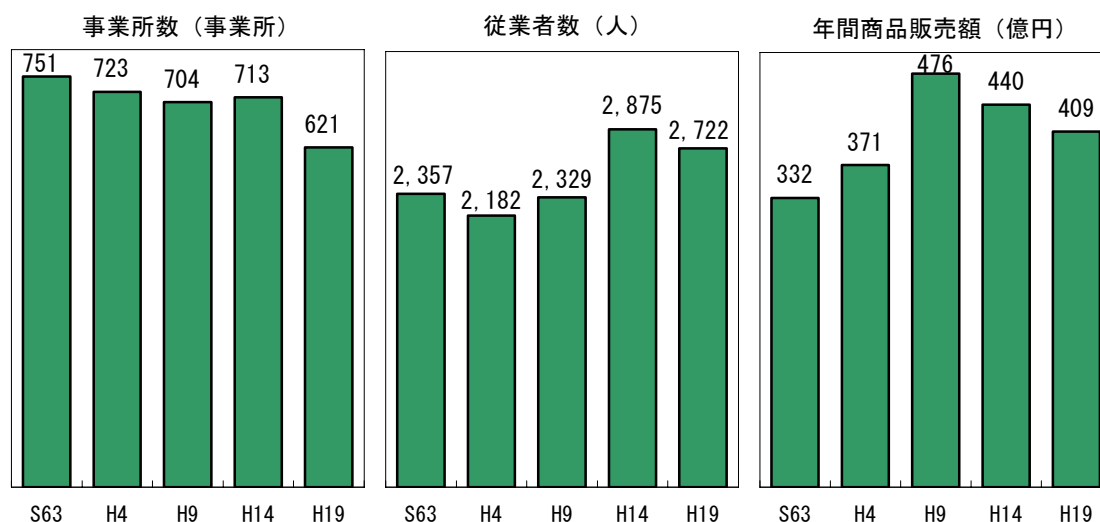


図2.2-8 商業（事業所数・従業者数・年間商品販売額）の推移

（出典：商業統計調査昭和63年、平成4年、平成9年、平成14年、平成19年）

(6) 観光業

①概要

峡北地域（北杜市と韮崎市との合計）への年間観光客数の推移をみると、平成20年は大河ドラマ等の影響により増加した前年に比べて約60万人の減少でしたが、平成14年以降の年間700万人以上というラインは維持しています。日帰り客・宿泊客別では、日帰り客が約9割を占めており、宿泊客が伸び悩んでいる状況にあります（図2.2-9）。

また、月別の観光客数をみると、8月の約135万人が最も多く、次いで7月の約79万人、5月の約75万、10月の約73万人の順でした（図2.2-10）。

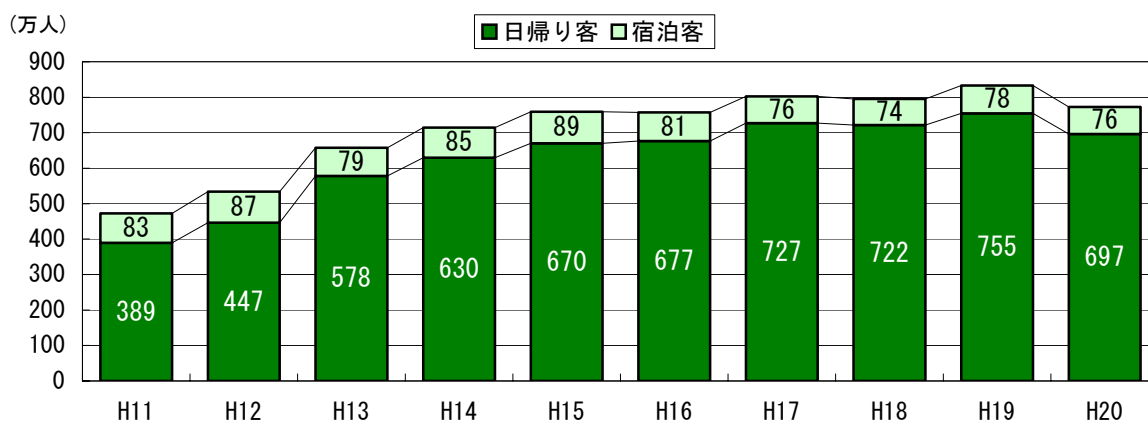


図 2.2-9 峡北地域（北杜市と韮崎市の合計）の年間観光客数の推移

（出典：山梨県観光客動態調査）

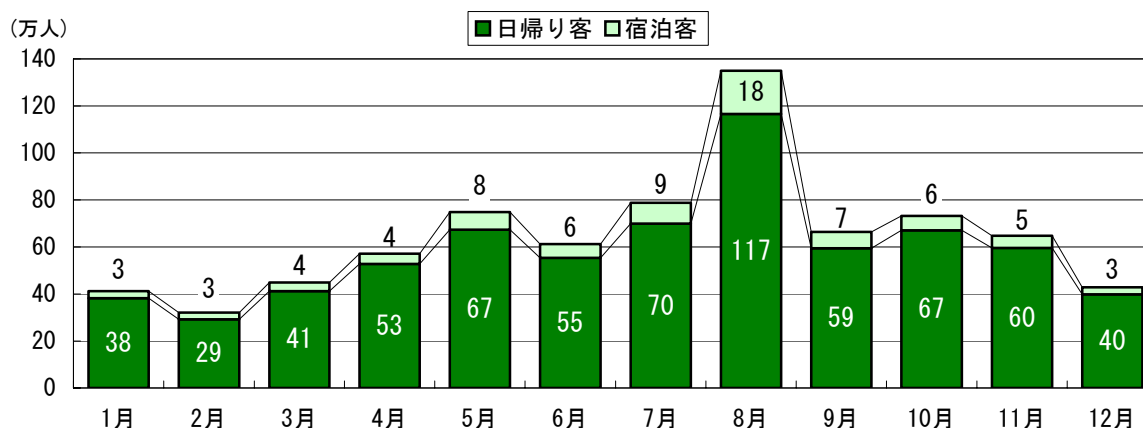


図 2.2-10 峡北地域（北杜市と韮崎市の合計）の月別観光客数（平成20年）

（出典：山梨県観光客動態調査）

②北杜市における取り組み

北杜市は、平成19年（2007年）6月2日に「長期滞在型リトリートの杜」宣言を行いました。「リトリート」とは、仕事や日常生活を離れ、自分だけの時間や人間関係に浸ってリフレッシュするという意味で、「癒しの空間」と意味づけており、暮らす感覚で地域とコミュニケーションできる滞在プランの提供を目指しています。また、コンソーシアム（事業共同体）の組織づくりや滞在期間中の行動をコーディネートしてくれる地域コンシェルジュの育成を行っています。

(7) 交通

① 広域交通網

北杜市を中央自動車道が縦貫しており、東京方面から須玉・長坂・小淵沢の3つのインターチェンジがあり、首都圏（新宿IC）から約2時間でアクセスできます。主要道路としては国道20号線及び141号線があるほか、広域農道等が整備されています（図2.2-11）。



図 2.2-11 広域交通網図

(出典：北杜市ホームページ <http://www.city.hokuto.lg.jp/>)

② 鉄道

市内をJR中央線・小海線が通っています。JR中央線は、日野春駅、長坂駅、小淵沢駅の3駅があり、首都圏（新宿駅）から小淵沢駅まで約2時間で結ばれています。JR小海線は、小淵沢駅（JR中央線）から長野県の小諸駅を結び、市内には小淵沢駅、甲斐小泉駅、甲斐大泉駅、清里駅の4駅があり、環境に配慮した世界初のハイブリッド型鉄道車両も運行し、観光客誘致にも一役かっています。

なお、明野、須玉方面へ行く場合には、韮崎駅からのアクセスが主流です。

③ 路線バス

期間限定ですが、市内の観光施設をつなぐ路線バスが運行されています（表2.2-2）。

表2.2-2 路線バス運行時期・コース

<p>清里ピクニックバス *平成21年4月25～ 11月23日</p>	<p>【平日清里・大泉周遊】 清里駅→キープ農場前→清泉寮→東沢大橋→まきば公園→八ヶ岳倶楽部→パノラマの湯→ロイヤルホテル→八ヶ岳大橋・中村農場前→吐竜の滝入口→清里駅 清里駅→学校寮・明治大学前→清里の森→美し森→清里高原ホテル→清泉寮→キープ農場前→清里駅 清里駅→オルゴール博物館→レストハウス八ヶ岳前→小須田牧場前→黒井健絵本ハウス→丘の公園・天女の湯前→谷口牧場→輿石牧場→清里駅 1日周遊券：(大人) 600円・(小人) 300円 1回乗車券：(大人) 300円・(小人) 150円</p>
<p>八ヶ岳高原リゾートバス *平成21年4月4日～ 11月29日 *7月17日までと10・ 11月は土日祝</p>	<p>小淵沢駅→スーパーやまと→身曾岐神社→但馬家幸之助→スパティオ小淵沢→中村キース・ヘリング美術館→ルラシュ癒しの社→しのはらの森→えほん村→三分一湧水館→セラヴィリゾート泉郷→平山郁夫シルクロード美術館→ダイヤモンド八ヶ岳美術館→パノラマの湯→大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル 1日フリーパス 600円</p>
<p>甲斐駒ヶ岳周遊バス *平成21年4月1日～ 11月23日 *4月の桜の時期はほぼ 毎日、それ以外は土日祝</p>	<p>【桜ルート】 韮崎駅→韮崎大村美術館→武川米直販所なごみ→まちの駅武川直販所→実相寺・神代桜→眞原桜並木→眞原セラピー上原前→フレンドパークむかわ→藪ノ湯みはらし→篠沢大滝キャンプ場→B&B 白州→ナカヤマ住設前→べるが・尾白の湯→尾白川溪谷→シャルマンワイン→台ヶ原宿七賢・金精軒 片道：韮崎駅～実相寺 780円、韮崎駅～尾白川溪谷 1,280円</p>

*運行時期は、平成21年(2009年)のものです。

(出典：山梨交通ホームページ <http://yamanashikotsu.co.jp/>)

④北杜市民バス

北杜市民バスは、北杜市が運営するコミュニティバスであり、清里長坂線、小泉長坂線、大泉長坂線、小淵沢長坂線、横手日野春線等、12の路線で運行されています。普通運賃(平成22年2月現在)は、3km未満が200円、3～6km未満が300円、6～10km未満が400円、10～15km未満が500円、15km以上が600円(3歳未満無料、中学生未満半額)、及び巡回線(明野、須玉、小淵沢、武川各路線)では200円均一となっています。

2.3 新エネルギー賦存状況

北杜市地域新エネルギービジョンの基礎調査結果では、北杜市における新エネルギーの賦存状況について、太陽エネルギー（太陽光発電・太陽熱利用）が◎、木質資源、畜産資源、廃食油、中小水力が○と評価されており、同ビジョンでは、これらのエネルギー資源の活用が、短期・中期的には中心であることが示されています（表 2.3-1、図 2.3-1）。

表 2.3-1 北杜市の新エネルギー賦存量・期待可採量

種別	賦存量 (百万 MJ/年)	期待可採量		評価
		熱利用 (千 MJ/年)	発電利用 (千 MJ/年)	
太陽光発電	2,951,446	-	234,047	◎
太陽熱利用		288,108	-	
風力発電	6,936	-	210,863	△
木質資源	40,308	546,966	182,322	○
畜産資源	37	27,991	9,330	○
農産資源	163	122,532	40,844	△
廃食油	9	6,761	-	○
可燃ゴミ	43	32,197	6,439	△
し尿汚泥	1	668	223	×
中小水力	2,332	-	16,636	○
合計	3,001,275	1,025,223	700,704	

◎：非常に有望、○：有望、△：あまり期待できない、×：良くない
 (出典：北杜市地域新エネルギービジョン報告書)

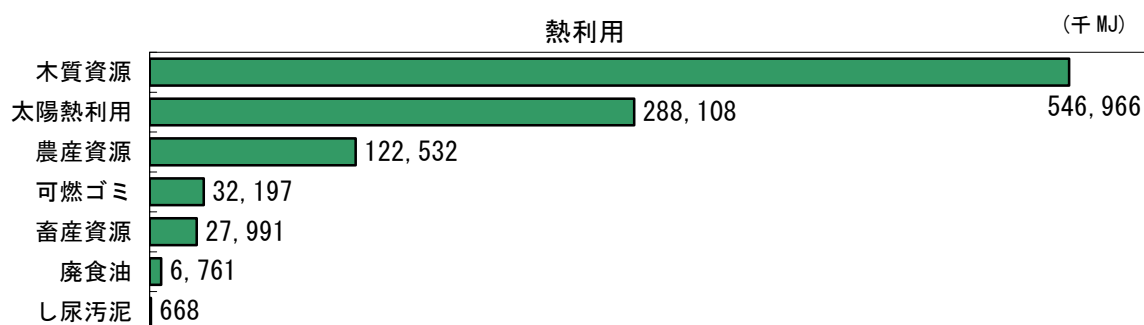
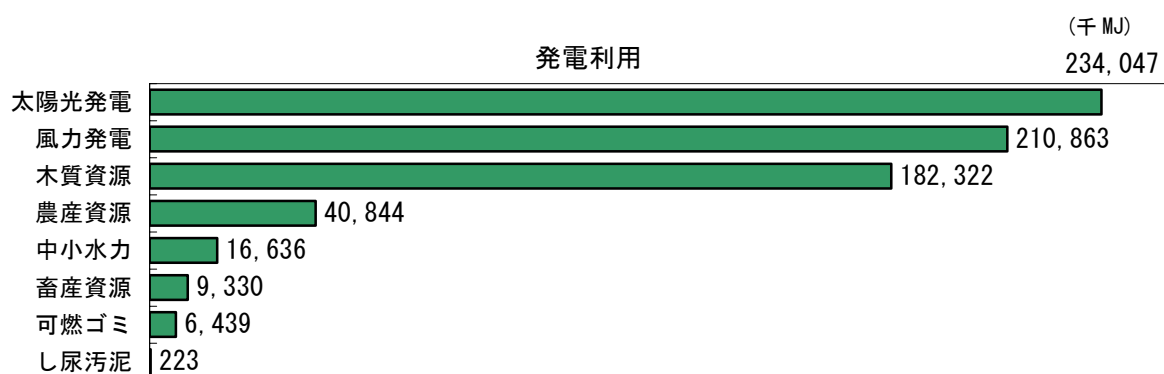


図 2.3-1 新エネルギー期待可採量：【上図】発電利用・【下図】熱利用
 (出典：北杜市地域新エネルギービジョン報告書より作図)

2.4 新エネルギー導入状況

(1) 行政（市・県）導入済施設

行政においては、太陽光発電や中小水力を中心に導入が進んでいます（表 2.4-1）。

表 2.4-1 新エネルギー導入状況

導入地域	導入場所・施設名	新エネルギー施設
明野町	明野ふるさと太陽館	太陽光発電 30kW
	市立明野中学校	太陽光発電 20kW、ペレットストーブ、OMソーラー
	市営ひまわり団地	ハイブリッド街路灯 1基
高根町	丘の公園	太陽光発電 95kW
	県立八ヶ岳自然ふれあいセンター	太陽光発電 5.2kW
	大門ダム（清里湖）	水力発電 230kW
	市立高根中学校プール	太陽熱利用
	市立みどり保育園	太陽熱利用
	市立さくら保育園	太陽熱利用
	福祉村みのりの里	ハイブリッド街路灯 1基
	パル・実郷	太陽光発電 20kW
	村山六ヶ村堰水力発電所	水力発電 320kW
長坂町	三分一湧水館（三分一湧水公園）	太陽光発電 3.2kW、水力発電 1kW、ハイブリッド街路灯 5基
	NEDO 北杜サイト	太陽光発電約 2,000kW
	県道横手日野春停車場線	エコ照明 8基 9.6W
大泉町	市立泉中学校	ハイブリッド街路灯 1基
	甲斐大泉温泉パノラマの湯	太陽光発電 40kW
小淵沢町	保健センター	ハイブリッド街路灯 1基
	市立小淵沢中学校	OMソーラー、ハイブリッド街路灯 2基 太陽光街路灯 7基
武川町	むかわの湯	ハイブリッド街路灯 1基
市役所	公用車	BDF 燃料利用車 5台・ハイブリッド自動車 6台

(2) 市民・事業者の取り組み

市民においては、平成 18 年（2006 年）度～平成 21 年（2009 年）度 12 月までに北杜市住宅用太陽光発電システム設置費補助金の利用による導入量は、690kW です。

また、事業者においては、太陽光発電を中心に導入がされているほか、JR 小海線では世界初のハイブリッド型鉄道車両が導入されています（表 2.4-2）。

表 2.4-2 新エネルギー導入状況

導入地域	導入場所・施設名	新エネルギー施設
高根町	明治大学清里セミナーハウス	太陽光発電 30kW
	(株) 環境保全研究所社屋	太陽光発電 16.5kW
	キープ国際研修交流センター	太陽光発電 30kW、木質ペレットボイラー
長坂町	(株) キッツ長坂工場試作工場棟	太陽光発電 40kW
大泉町	日本マイクロコーティング (株) 山梨プラント	太陽光発電 120kW
	(株) ニチレイ・アイス大泉アイスプラント	太陽光発電 50kW
	日本小水力発電 (株)	水力発電 4.8kW
JR	JR 小海線	ハイブリッド型鉄道車両